

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2017-145375(P2017-145375A)

【公開日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-032

【出願番号】特願2016-30460(P2016-30460)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 8 L 63/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2018.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

C 0 8 G 59/62 (2006.01)

C 0 8 G 59/20 (2006.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 161/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

H 0 5 K 1/03 (2006.01)

H 0 5 K 3/46 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 8 L 63/04

C 0 8 K 3/00

C 0 8 J 5/18 C F C

C 0 8 G 59/62

C 0 8 G 59/20

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 161/06

C 0 9 J 11/04

H 0 5 K 1/03 6 1 0 K

H 0 5 K 1/03 6 1 0 R

H 0 5 K 3/46 T

H 0 5 K 1/03 6 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) シアネート樹脂、(b) エポキシ樹脂、(c) 無機充填材及び(d) ポリアミド樹脂を含有する、樹脂組成物。

【請求項 2】

(a) シアネート樹脂と(b) エポキシ樹脂との質量比 [(a) / (b)] が、0.2 ~ 2.5 である、請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

(c) 無機充填材の含有量が、樹脂組成物の固形分換算 100 質量部に対して、3～50 質量部である、請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組成物。

【請求項 4】

(d) ポリアミド樹脂が、数平均分子量が 20000～30000、かつ重量平均分子量が 100000～140000 であり、末端にアミノ基を有するゴム変性ポリアミド樹脂である、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 5】

(d) ポリアミド樹脂の含有量が、(c) 無機充填材の質量を除く樹脂組成物の固形分換算 100 質量部に対して、1～20 質量部である、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 6】

(a) シアネート樹脂が、1 分子中に 2 個のシアナト基を有するジシアネート化合物のプレポリマーである、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 7】

支持体、接着補助層及び層間絶縁層用樹脂組成物層をこの順に有する層間絶縁層用樹脂フィルムであって、

前記接着補助層が、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物を含有する層である、層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項 8】

前記層間絶縁層用樹脂組成物層が、(e) シアネート樹脂、(f) エポキシ樹脂及び (g) 無機充填材を含有する層間絶縁層用樹脂組成物を含有する、請求項 7 に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項 9】

(e) シアネート樹脂と (f) エポキシ樹脂との質量比 $[(e)/(f)]$ が、0.1～2 である、請求項 8 に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項 10】

(g) 無機充填材の含有量が、前記層間絶縁層用樹脂組成物の固形分換算 100 質量部に対して、40～90 質量部である、請求項 8 又は 9 に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項 11】

請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物の硬化物又は請求項 7～10 のいずれか 1 項に記載の層間絶縁層用樹脂フィルムが有する接着補助層及び層間絶縁層用樹脂組成物層の硬化物を含む多層プリント配線板。